

# 環境教育「まず、今できることから」

## 歴史に学ぶ

発行所：地域環境活性化協議会  
 編集者：代表幹事 高橋賢一  
 連絡先：市民活動支援センター  
 尾張旭市茨川町三丁目5番地7  
 (波川福祉センター内)  
 TEL 0561-51-2878



2013. 12. 01

### フラハンド有酸素運動

「ヘルパー症候群」の改善、「心身体疎離」に努力しているNPO系日本運動能力を刺激し、身体機能改善指導士としての役割を担う。また地元のはやぶさ地防協会も幹部が協力、今後の協定の機運を醸成していった。

後知する。情緒を安定し安眠効果が増大する。ゲーブルゲーム。反射神経を研ぎ澄まし、バランス感覚を敏速性を養う。

平成25年12月/日(自)午後一時~四時まで  
 場所 茨川福祉センター1階  
 参加者 四十名



2013. 12. 01

平成25年12月1日  
 新しい事業が初まりまし  
 幼児からお年寄りまで地域の  
 暮らしや障害者に対する  
 防災体力向上に  
 器具を使って運動  
 をする。心身機能  
 若性運動も実施  
 した。  
 主催 地域環境活性化  
 協議会  
 協力 はやぶさ地防会  
 NPO系日本老年機能改善指導士  
 会  
 白新聞より抜粋

### 避難時の体力鍛える

尾張旭市 住民ら器具使い運動



大地震などの災害時に自分で逃げられる「防災体力」について考えるイベントが1日、尾張旭市茨川福祉センターであった。

地域のお年寄りや障害者らに防災体力をトレーニング、認知症予防に役立つ。同市の地域環境活性化協議会が初めて企画し、幼児からお年寄りまで四十人が参加した。高橋賢一協議会会長は「この地域も高齢化が進んでおり、お年寄り組にいるNPO法りや障害者に自分の力人日本心身機能改善指導士会に、今後継続してや法指導士会を協賛して、簡単な器具を使っていきなさい」と話して、全身の筋力や体のついで。



2013. 12. 01

バランス  
 計測器  
 早期発  
 見  
 タタカ  
 障がい  
 バランス  
 計測器



2013. 12. 01

言語、知能機能と改善(画面の右下に見え  
 するサウンドアクトンロニアA)とテレビ画面  
 回想療法を取り入れている。実物です。



2013. 12. 01